

## 研究課題名「FDG-PET 画像を応用した原発性肺癌の充実成分径計測」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2017 年 1 月 4 日～2018 年 7 月 31 日に当院で肺がんの手術および術前 PET 検査を受けられた方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

**目的：**原発性肺がんは CT 画像所見に基づいて、すりガラス影を含むすりガラス型・部分充実型と、すりガラス影を含まない充実型に分類されます。最新の TNM 臨床病期分類では、CT で計測した充実成分径が原発性肺がんの T 因子の 1 つとして採択されています。しかしながら CT で計測した充実成分径と術後の病理標本で測定した病理学的浸潤径に乖離を生じるケースがあり、臨床病期分類をより正確に診断する手法が模索されています。FDG-PET は肺がんの術前診断に広く推奨されている検査で、リンパ節転移や遠隔転移の診断だけではなく、腫瘍の悪性度や予後予測に有用とされています。そこで本研究では、当院で手術が施行された原発性肺がんの術前 CT・PET 検査、術後病理所見を後向きに調査し、術前画像検査から病理学的浸潤径をより正確に推測する手法を検討します。

**方法：**2017 年 1 月 4 日～2018 年 7 月 31 日に当院で肺がんの手術を受けられた対象者の方の画像所見や病理所見などの情報を、個人情報削除された状態でデータを収集していきます。術前に撮像された CT・PET で計測した充実成分径と、術後の病理学的浸潤径を比較検討し、CT 所見に PET 所見を加味することで浸潤径をより正確に診断できるかどうかについて統計解析します。

**研究期間：**実施承認日～2020 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、手術記録、病理記録、CT・PET 画像および読影レポート等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 量子医学

准教授 岩野信吾（研究責任者）

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: 052-744-2327